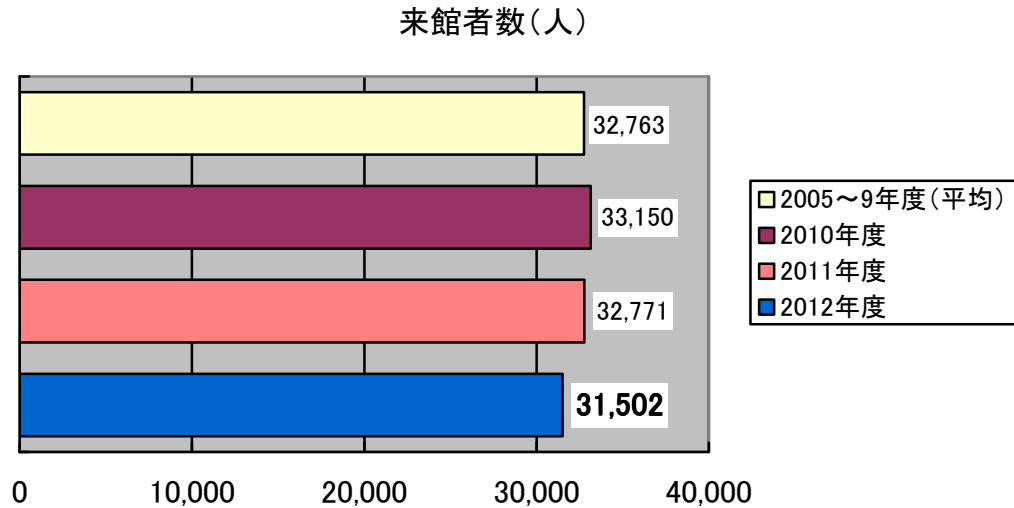


みのお市民活動センター 10年の軌跡

みのお市民活動センター指定管理者
(特活)市民活動フォーラムみのお

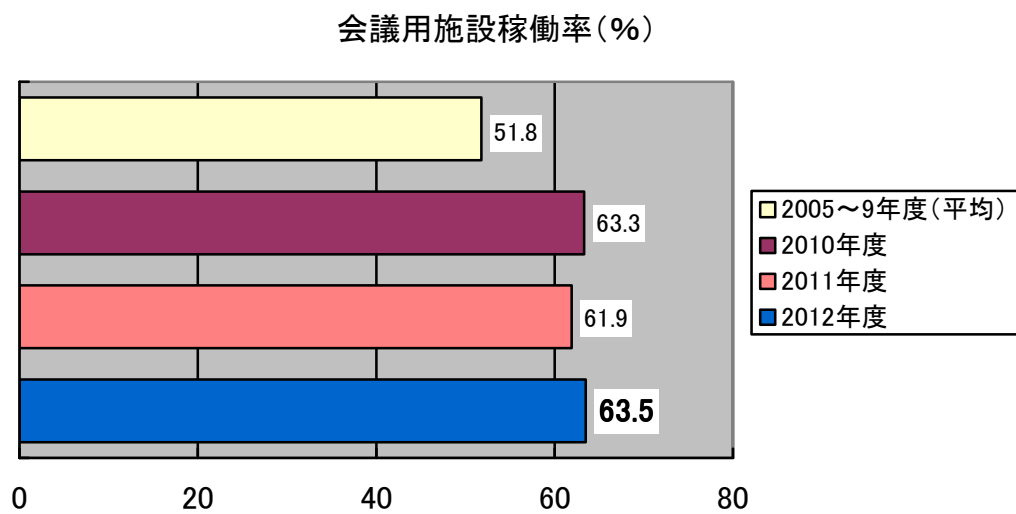
◆ 数字でみる10年の推移

【センター来館者数】



前年度に引き続き微減しており、1日あたりの平均来館者数は約 88 人。

【会議用施設稼働率】



2012年度は、全施設平均で 63.5%となり、グリーンホール休館に伴って 63.3%を記録した 2010年度を超える過去最高の稼働率となった。

【活動用施設利用状況(2013年3月末現在)】

	利用料(月額)	総数	利用数				
			2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
事務ブース	5,000円 (3年超は8,000円)	12	12	10	12	12	11
倉庫	500円	24	24	23	24	24	24
ロッカー	500円	32	15	14	25	21	21
メールボックス	無料	48	31	37	39	42	43

【付属設備利用状況】

《利用料金》

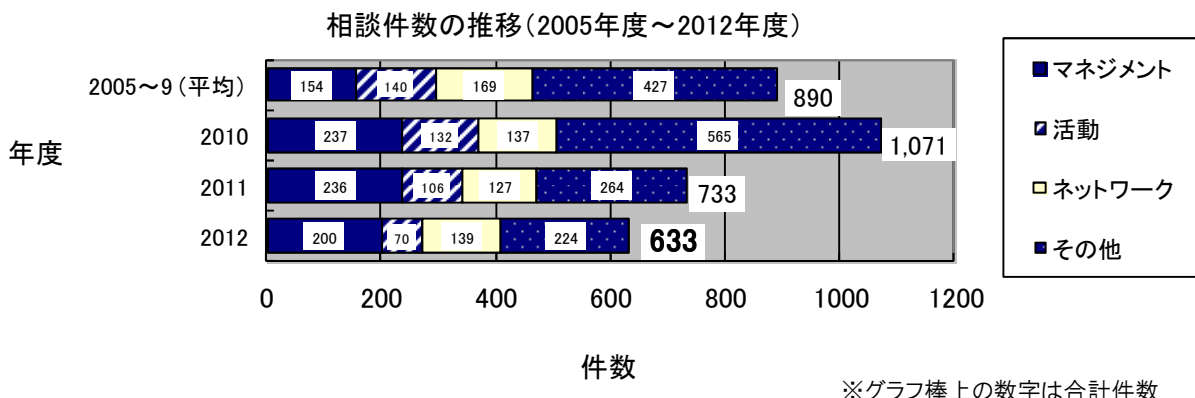
※単位は千円(100円の単位で四捨五入)

	2005~9年度平均	2010年度	2011年度	2012年度 (対前年度比)	2005~9年度平均 からの増加率
印刷機	661	744	618	687 (111.2%)	103.9%
コピー機	219	399	307	242 (78.8%)	110.5%

※比率は四捨五入後の利用料金で計算しているため、多少の誤差を含む(少数第2位で四捨五入)。

2011年10月31日より新しい機械となり印刷品質が向上したこと、故障による休止日数が少なくなったこと、などの効果と思われる。コピー機については、前年度に引き続き利用が減少している。

【相談件数の推移】



事務局スタッフがセンター窓口などで市民活動に関する相談を受けた。2011年度に分類カテゴリーを刷新したのに続いて、2012年度には、相談記録のデータベース化に取り組み、相談対応の質的向上をめざした。

◆事業の取り組み

1) 情報収集及び提供に関すること

① 情報収集・提供

I. 市民活動データベース・ホームページ管理運営

〔年間アクセス総数〕 2012年度：12,640件（2011年度：15,543件）

II. 人材バンク事業

NPOにサポーター(ボランティア)として関わってみたい市民の方の登録を受け付け、随時紹介を行っている。登録者数は130人を超えているが、実際にマッチングしているのは50人余り。

② ニュースレター(みのお市民活動センターニュース)

2011年度より、フルカラー化してビジュアル面を強化。みのお市民活動支援金等、センター事業の紹介を中心に編集・発行。

③ サポーター情報誌 for NPO

年2回発行。市内のNPOから寄せられたボランティアスタッフの募集情報。A5版のコンパクトサイズで持ち帰り易い。公共施設以外に店舗等に設置している。

2) 講座の開催、その他啓発に関わること

① NPOフェスタ

1週間をフェスタ期間として開催。初日にはヴィソラ(現キューズモール)エルステージも会場として、広く市民活動の魅力をアピールするイベントとして定着。

② 市民活動スキルアップ講座

団体の運営や人材マネジメント等の組織力アップを図る講座を開催。2011年から学生を中心にした市民社会講座を大阪大学でも開催している。多様な関わり方や地域課題の解決のヒントとなるような講座を心掛けている。

3) 相談に関すること

① 専門家相談

ニーズの多い会計に関する事柄をテーマに実施。ここ数年は、主に会計の新規担当者を対象とした会計入門講座と会計決算講座を開催。それ以外に、ニーズに合わせ、税務や労務相談を行っている。2012年度は改正NPO法の施行に合わせ、NPO法人の会計学習・相談会を開催した。

4) 交流の促進に関すること

① 利用者協議会の開催

事務ブース団体、減免団体(市民活動フォーラムみのおが半額支援)を中心に、センター利用に関する意見交流を年1~2回程度行っている。

② 子育て支援ネットワーク交流会

就学前程度の子育て当事者を中心とする子育て支援団体で、子育て支援に関わる課題をテーマに、2009 年度から交流会を開催。市の担当課や(社福)箕面市社会福祉協議会、民生委員・児童委員も含め団体間のネットワークを広げてきた。子育て支援活動の情報を毎月定期的に配信。

③ 地域コミュニティ交流会(箕面小校区地域リーダー会議)

2012 年度から、地域と市民活動の連携をより一層深めるため、モデル地区として、コミュニティセンター運営委員会、地区福祉会、青少年を守る会と担当課による箕面小校区地域リーダー会議に参加し、地域の課題についての情報交換・意見交流を行っている。

5) 調査・研究

① 多様な協働の事例から学ぶ(豊能地区合同研修会)

当初は箕面市内のNPO・市民活動団体の実態把握の調査を中心に実施。団体のニーズやシーズを把握しつつ、協働のあり方やルール作りなどの調査に移行した。2012 年度から、複数のNPO間での連携も視野に入れた「多様なセクター間の連携・協働」の事例を通して、協働の課題に取り組んでいる。行政との協働の形で、平成 19 年度(2007 年度)から、豊能地区(豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町)NPO担当課とNPOを支援する中間支援組織の「豊能地区市町NPO担当連絡会議」に参画、[協働促進や交流を目的とした合同研修](#)も年 1 回開催している。

6) 市民活動に係る支援

① 市民活動支援金交付事業

2010 年度から、2009 年度までの「箕面市非営利公益市民活動促進補助金(NPO補助金)」に代わり、「みのお市民活動支援金」がセンター事業としてスタートした。

初年度(2010 年度)においては、審査・交付事務についてはこれまでのNPO補助金制度を踏襲して実施する一方、「みのお市民活動支援金構築委員会」を立ち上げ、2011 年度以降に実施する新しい制度の設計を行った。効果的に活用してもらえるよう、制度の中間見直しも行った。大きな変更は、募集時期の前倒し、申請書様式の変更、審査基準の見直し、全コースへ公開プレゼンテーションの導入などである。

② みのお市民活動支援金成果報告会

みのお市民活動支援金の交付を受けた団体による報告会を開催。交付を受けた全ての団体が参加し、交付事業の成果の発表を行っている。